

令和4年度第1回東大和市文化財専門委員会議

会 議 次 第

日 時：令和5年1月19日（木）

午前10時00分から

場 所：郷土博物館会議室

委員長あいさつ

議 題

令和4年度文化財保護行政事業について

その他

## 令和4年度第1回東大和市文化財専門委員会議（要旨）

開催日時：令和5年1月19日（木） 午前10時00分～10時45分

開催場所：東大和市立郷土博物館会議室

出席委員：安島喜一委員 石井裕光委員 加藤哲委員 砂田さと子委員 永石文明委員  
中藤成実委員 藤田昭造委員 宮本八恵子委員 8名

（欠席委員：松原典明委員）

事務局：高田生涯学習課長・坂本郷土博物館長・池田主事・中山主事

### ○議題 令和4年度文化財保護行政事業について

事務局：資料をもとに令和4年度文化財保護行政事業について説明を行う。

#### ●日記が語る戦時中の暮らしについて

委員：工場に勤務していたから書けた内容である。プライバシーに配慮しつつも、展示の内容がよく分かった。

委員：空襲を受けながらも心のよりどころ、楽しみが伝わってきた。旧日立航空機株式会社変電所で、常設ではないにしろ、展示で活かせないかと思った。

委員：おとなの社会科で日記が語る戦時中の暮らしの解説をした。そのようなミニ講座を実施してほしい。

委員：展示に来られなかった人のために、図録などがあるといい。

事務局：日記の所有者のご意向もあり、今回は図録を作らなかった。

#### ●旧吉岡家住宅について

委員：吉岡堅二の作品はどのくらい保存しているのか。

事務局：日本画からスケッチ、素描まで含めると多くの量がある。

委員：一昨年に旧吉岡家住宅からシャトルバスに乗車した。地形が面白いと思った。家の敷地が低くなっている。立地環境も含めた探索イベントができれば面白いと思った。

委員：東大和観光ガイドの会と連携して事業を実施できればいいと思った。

委員：秋の公開で東大和観光ガイドの会は、清水地区をまわり、旧吉岡家住宅で解散した。

●生活文化財保存庫について

委員：令和4年に207点の生活文化財を寄贈いただいている。第一中学校にある生活文化財保存庫は、虫の対策や、現状確認が今後必要になってくる。

事務局：虫については、くん蒸を年に1回行っている。

●埋蔵文化財について

委員：埋蔵文化財の立会の時に、桜が丘に建設中のマンションから矢じりが出土した。あの辺りは昔、川が流れていて、川べりで縄文人が活動していた可能性がある。調査は実施されたのか。

事務局：当該地は埋蔵文化財包蔵地ではないので立会はしていない。

●保存団体の補助金について

委員：郷土芸能の保護、保存及び継承を行っている団体については、今後も国からの支援の動きもあると思うので、市の方でもバックアップをしていただき、申請をしやすいしてほしい。

●里正日誌について

委員：中断期間もありながら、里正日誌の目録作成から50年目にあたる今年度末に第六巻を刊行できる。何とか完成することができた。目録完成から数えると、全巻刊行まで半世紀かかっている。先駆的な活動をしており、今後も地道に取り組んでいきたい。

委員：第六巻の刊行は注目されると予想される。時代の変化が目まぐるしい時期で、いつ刊行されるのか度々質問を受けている。

●旧日立航空機株式会社変電所について

事務局：電気計測器について、資料をもとに紹介を行う。

○議題 その他

事務局から令和5年1月21日（土曜日）、22日（日曜日）に開催される多摩郷土誌フェアの案内があった。